

調査

I 世論調査

区では、区民の区政に対する意識や意向を的確に把握するために、昭和 49 年から 2 年に一度、世論調査を実施しています。今回の調査は、経年変化をみる「定住性」等の項目と、地域の支えあい、環境を守るために日常心がけていることについて等の項目について伺いました。

(1) 調査の概要

調査対象：品川区在住の満 20 歳以上の男女個人（平成 26 年 6 月 1 日現在）

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

対象者数：1,500 人

調査方法：調査員による個別面接聴取法

回収数：1,071 人

回収率：71.4%

調査期間：平成 26 年 6 月 28 日～7 月 13 日

(2) 調査の内容

平成 26 年度は、10 分野 31 問について調査しました。

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 オリンピック・パラリンピックについて
- 4 防災について
- 5 地域活動への参加について
- 6 介護保険について
- 7 認知症について
- 8 健康について
- 9 環境について
- 10 みどりについて
- 11 広報と情報化について
- 12 シティプロモーションについて
- 13 読書と図書館利用について
- 14 重要施策について

(3) 調査の結果

① 定住性について

これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」（53.5%）と「当分は住みたい」（37.4%）を合わせた「定住意向」（90.9%）はほぼ9割となっています。

② 生活環境について

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便がよい」が91.7%と最も多く、次いで「買い物に便利」（77.5%）などの順となっており、交通や買い物の便のよさが大きな理由となっています。

③ オリンピック・パラリンピックについて

東京オリンピック・パラリンピックに期待することをたずねたところ、「経済効果・景気回復」が51.1%と最も高く、次いで「子どもたちがオリンピック・パラリンピックを間近で経験する機会」（40.7%）、「まち（道路・施設など）の整備」（37.9%）などの順となっています。

④ 防災について

今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、＜自助・共助＞では「防災用品の備蓄」が78.4%と最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」（58.4%）などの順となっています。＜公助＞では「さまざまな情報発信」が66.8%と最も高く、次いで「火災延焼防止のための木造密集地域対策」（52.5%）などの順となっています。

⑤ 地域活動への参加について

町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が55.2%となっています。一方、「加入していたことがある」（2.4%）と「加入したことがない」（28.4%）を合わせた『加入していない』は30.8%となっています。

⑥ 介護保険について

介護保険料についての意見をたずねたところ、「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうが良い」が45.1%、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうが良い」は25.5%となっています。また、「わからない」は28.5%となっています。

⑦ 認知症について

認知症についての考えについてたずねたところ、「自分や家族も認知症になる可能性があるので、詳しく知りたいと思う」が46.9%と最も高く、次いで「身近な人に認知症の症状があり、認知症についてある程度理解している」（27.9%）、

「言葉は知っているが、関心がない」（15.1％）などの順となっています。

⑧ 健康について

健康のために日ごろから行っていることをたずねたところ、「定期的に健康診断を受けている」が 58.6％と最も高く、次いで「近いところはバスやタクシーに乗らずに歩くようにしている」（48.1％）、「規則正しく食事を取るようにしている」（46.3％）などの順となっています。

⑨ 環境について

環境保全と経済の発展や生活の利便さの優先度をたずねたところ、「どちらかといえばAに近い」が 32.5％と最も高く、これに「Aに近い」（27.0％）を合わせた『Aに近い』は 59.5％となっています。一方、「どちらかといえばBに近い」（18.4％）と「Bに近い」（13.2％）を合わせた『Bに近い』は 31.6％となっています。

⑩ みどりについて

品川区の緑についてたずねたところ、「とても多い」（5.7％）と「やや多い」（31.2％）を合わせた『多い』は 36.9％となっています。一方、「やや少ない」（38.1％）と「とても少ない」（7.5％）を合わせた『少ない』は 45.6％となっています。

⑪ 広報と情報化について

区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が 63.0％と最も高く、次いで「品川区ホームページ」（21.3％）、「町会回覧板での『〇月の品川区からのお知らせです』（ちらし）」（19.8％）などの順となっています。

⑫ シティプロモーションについて

品川区の魅力や地域イメージを伝えるための効果的な取り組みについてたずねたところ、「新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどで品川区が紹介されること」が 42.9％と最も高く、次いで「品川区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」（37.3％）、「区内の企業、商店街、大学・高校などと連携したイベントやPR活動」（31.1％）などの順となっています。

⑬ 読書と図書館利用について

1カ月の読書量をたずねたところ、＜紙の本＞では「ほとんど読まない」が40.0%となっています。「1～2冊」は33.8%、「3～4冊」は15.6%となっています。

＜電子書籍＞では「ほとんど読まない」が82.6%となっています。「1～2冊」(4.8%)、「3～4冊」(1.7%)、「5～6冊」(0.8%)、「11冊以上」(0.4%)はいずれもわずかとなっています。

⑭ 重点施策について

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「防災対策」が35.2%と最も高く、次いで「安全な市街地整備(老朽過密住宅地区の改良など)」(30.1%)、「高齢者福祉」(28.0%)、「生活安全(防犯対策・歩行喫煙禁止など)」(25.0%)、「子育て支援」(20.3%)などの順となっています。